

リード芦屋新聞

発行元

リードあしや

SDGsを知れた！

カードゲームで「協力」の面白さ学ぶ

「2030 SDGs」カードゲーム体験会が10月4日、リードあしやで開かれた。

SDGsとは「持続可能な開発目標」の略称。2015年9月に国連総会で決められた。2030年までの達成を目指す、国際社会の共通目標だ。

しかし日本ではまだまだ認知されていない。今回の参加者の中でも知らない人のほうが多かったように感じた。

カードゲームは、自分の目標を達成しつつ、世界の状況メーターをバランスよく定めていくというルール

で、楽しみながらSDGsを知ることができる。実際に体験してみると最初は自分の目標を達成す

るのに頭がいっぱいで、メンバーには目もくれなかった。そのため目標達成は早かったが、メンバーのバラ

ンスが悪かった。だが後半は、他の参加者とコミュニケーションを取り、上手くバランスを保つことができた。

このゲームの面白いところは、他の人と協力できることだ。やはり自分の事ばかりを考えていたら、経済は発展するものの周りの環境は良くなるしないのだな、と感じた。周りの人と助け合いながら物事を達成することは将来、就職した時にも使えるなどと思った。



私が起点だ 国境を越えて繋がる想い



「2030 SDGs」カードゲーム体験会で、講師を務めたSDGsファシリテーターの中嶋雅美さんに話を聞いた。

持続可能な開発目標「SDGs」が国連サミットで採択された時、全会一致だったと知り、「国を越えて一つの想いができて、とても嬉しかった」と中島さんは話す。

一人一人に取り組んでほしいことは何か、と尋ねる

と、「いろいろなことを自分のことと置き換えて考えてみてほしい」と話す中嶋さん。SDGsファシリテーターのやりがいについては「毎回、参加する人によって結果や楽しみ方が違うこと」と答えた。

このイベントに参加して学んだことは、もともと社会のニュースに興味を持ち、自分の意見を持つことが大切だということだ。

（小林愛奈、三戸田愛実）